



稼げる!プロコン育成塾

25 期 第7回 講義レポート

稼げる!プロコン育成塾 25 期 第7回講義、次のとおり報告します。

■実施要項

開催日時：2025 年 11 月 29 日（土）

講義内容：【コースマスター講話】コンプライアンス 講師：太田 一宏コースマスター
【診る】診断実習（診断の基本・診断実務の現場） 講師：木村 洋一 氏（14 期）
【特別講義④】中小企業診断士と出版社の付き合い方 特別講師：馬渕 裕介 氏

■講義レポート

11 月 29 日（土）、稼げる!プロコン育成塾 25 期第7回講義を開催しました。

1. 【コースマスター講話】コンプライアンス

講師：太田 一宏コースマスター

太田コースマスターの講話のテーマは「コンプライアンス」でした。語源の説明を通じて、コンプライアンスとは単なる法令順守ではなく、診断士としての内面から生まれるものを基盤とした行動であることを学びました。特に守秘義務と公務員倫理については、自由な解釈を許さず厳格な態度で臨むべきである点が強調され、これらを全員が徹底することで診断士全体の品質が高まるとの指摘がありました。

後半では企業内診断士としての注意点が具体的に示され、会社の機器使用の禁止、個人メール・名刺の準備など、日々の行動が診断士全体の信頼に直結することを再認識しました。

コンプライアンスを「外側から守られるもの」ではなく「内面から生まれる姿勢」として捉え直し、自らの行動を省みる貴重な時間となりました。



写真：太田 CM による
講義

2. 【診る】診断実習（診断の基本・診断実務の現場）

講師：木村 洋一 氏（14 期）

次回から始まる診断実習に向け、稼プロ! 14 期生の木村洋一氏による講義が行われました。木村講師は食品業界出身で、中小企業支援に長年携わっています。また診断実習の講師を継続して務め、後進育成にも力を注いでいます。

今回の講義では、資料の分量が前年度より大幅に増え、内容も一段と濃密なものとなりました。事例も多く盛り込まれており、経験の浅い診断士でも具体的なイメージを掴みやすい構成となっています。講義全体としては、診断士としての基本姿勢から、実務に求められる分析力・創意工夫まで、多面的な視点が示されました。

仕事の流儀として掲げた「誠意・熱意・創意」の中でも、特に「創意」の大切さを強調しています。自分なりの「つかみ」を用意し、相手と早く打ち解けることの重要性にも触れています。さらに、一次試験の知識や一般常識、経験を組み合わせて仮説を立て、それを実現可能なアクションプランへ落とし込む力こそが診断士の核であると説いています。たとえ仮説が外れても深掘りにつながり、支援先の本質的な強みや価値構造を見抜くきっかけになるという話も印象的でした。



写真：木村講師
による講義

強みの捉え方では顧客評価のような数値化しにくい価値を重視し、クロスSWOT分析でアクションプランやドメイン策定につなげていく方法が紹介されました。財務面では損益分岐点、キャッシュフロー、役員貸付金など現場で注意すべき点が示されています。さらに、提言のまとめ方、事業承継支援、人材育成、法令対応など実務に直結する内容も多く盛り込まれました。

年明けには、いよいよ事業者様へのヒアリングが控えています。今回の学びを活かし、実習での実践につながることを期待されます。

3. 【特別講義④】中小企業診断士と出版社の付き合い方

特別講師：馬淵 裕介 氏

月刊『企業診断』編集長の馬淵裕介講師をお迎えし、出版業界の現況から実務的な執筆ノウハウまで、ここでしか聞けない貴重なお話を伺いました。『企業診断』は日本を代表する経営コンサルティング実務の専門誌であり、稼プロ！OB・関係者も多く執筆してきた媒体です。

講義では、出版市場の動向（紙と電子の比率、国内外の違い、売れる書籍の傾向など）、出版社が採用したくなる企画の考え方、企画書に盛り込むべき要点、執筆で避けるべき行為などを、事例を交えながらわかりやすくご説明いただきました。

また、近年のトレンドである生成 AI の活用法についても触れられ、AI はあくまで補助的に用いること、事実確認は必ず人間が行うことなど、留意すべきポイントをご提示いただきました。受講生も高い関心を持って耳を傾けていました。

さらに塾生は、実際の原稿を用いた校正ワークにも挑戦しました。想像以上に修正箇所が多いことに気づき、出版レベルの品質基準の高さを実感するとともに、執筆に挑戦するイメージが一気に膨らむ、刺激に富んだ時間となりました。

■次回の案内

次回講義は、2月15日（日）です。

第8回（2月15日）

【診る】午前：診断実習（診断の手順およびヒアリング準備）

午後：診断実習（ヒアリング、方向性検討）

講師：木村 洋一 氏（14期）

事務局：曾我 剛（23期）

以 上